

# 学齡期部会「障害基礎年金研修会」を開催 先輩保護者をゲストに、手続きのコツを学びました



手をつなぐ  
とやま

第167号

富山県手をつなぐ育成会  
富山市安住町5-21  
富山県総合福祉会館内  
TEL 076-441-7161  
FAX 076-441-7255  
mail toikusei@minos.ocn.ne.jp  
HP <http://toyamaikusei.jp/>

発行責任者  
平野 幹夫

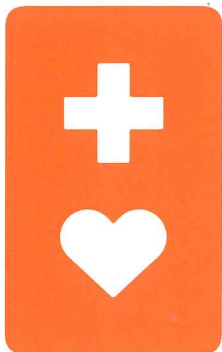
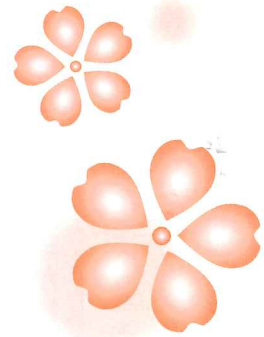
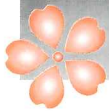
みなさんの会報です  
よく読みましょう

# 本人活動部会「明るい立山の会」



平成30年度の抱負を、みんなで書きました

— あなたです！  
差別するもの  
されるもの  
—



**「ヘルプマーク」**が、富山県でも7月から導入されます。義足や人工関節を使用している方、内部障害や難病の方、妊娠初期の方など、外見からは援助や配慮を必要としていることが分かりづらい方がいます。このマークを着用することで、周囲に支援を必要としていることを知らせるものです。平成24年に東京都が作成し、現在多数の府県で導入が広がっています。

# 学齡期部会「障害基礎年金研修会」

平成29年12月10日(日) サンシップとやま

<講師> 松井 貞樹氏  
 (社会福祉法人湊明会 障がい者サポートセンターきらり 相談支援専門員)

<ゲスト> 宮田 真知子さん、干場 千鶴さん  
 (共に、しらとり支援学校卒業の保護者)

— 守る 人権 明るい未来 —

2年ぶり3回目の開催となった、「障害基礎年金研修会」。毎回、この研修会への関心はとて高く、今回は県内の各支援学校に加え、富山、高岡の高等支援学校からも、たくさんご参加いただきました。

障害基礎年金について、時々、「案内が届いてから申請すればOKですよ?」、「書類を出せば、もらえますよね?」等のご質問を受けます。

一方、既に申請をした方からは、「時間が足りなくて焦った」、「思い出せなくて大変だった」、「書き方を間違えていたら、等級が変わっていたかも」という声も。

今回は、障害のある人の暮らしを支える大切な「障害基礎年金」について、先輩お母さんの体験談を交えながら、申請のポイントを中心に学びあいました。

講師は、前回2回に引き続き、松井さん。実際によく相談を受ける次のような内容を、Q&A方式で、わかりやすくお話ししていただきました。

- ・何歳から、いくらもらえるの?
- ・いつどこへ申請すればいいの?
- ・相談できる場所はあるの?
- ・「診断書」が必要なの?
- ・「申立書」ってどう書くの?
- ・働いていても、もらえるの?
- ・口座は作ったほうがいいの?



「申立書」と「診断書」、  
この二つの書類が重要!

お話しの中で特に強調されたのは二つの書類の大切さ。年金支給の可否は、これまで都道府県単位で審査されていたもの

が、2017年より、審査機関が全国で一元化されたことを紹介され、審査の際には、

- ①病院の医師が作成した「診断書」
- ②自分(または代理人)が作成した「申立書」

この二つの書類だけが頼りになることから、いかにこの書類が重要なものか強調されました。

そこで、実際に提出する「申立書」と、富山県育成会が作成した「記入見本」を見ながら、記入する際のポイントを詳しく説明していただきました。特に大事なことは、「単身での日常生活」を前提として、「できないこと」をベースにして書くという事でした。

また、審査のうえで最も重点が置かれる「診断書」については、作成を依頼する医師選びが一番重要だと助言されました。

未だ精神科医療機関への受診がない人は、高等部卒業までに受診しておくことや、先輩保護者などから、病院や医師の情報を集めることを勧められました。(未受診の方は、まずはインフルエンザの予防接種に行ってみるといふ例もあるそうです!)

最後に、年金を受給するにあたり、学校卒業後の収入と支出の目安を、具体的な金額を示しながら説明され、お子さんの将来の生活スタイルをイメージし、生活を維持していくためには、いくら必要なのか理解することや、障害基礎年金の申請を通し、子どもと親の将来のライフプランを考えるきっかけにしてくださいと、締めくくられました。

**先輩が語る  
申請までのあれこれ**

後半は、先輩保護者として、宮田さん、干場さんが登場。  
「宮田さん、障害年金って、お知らせは届かないのですか？」

干場さんの、この一言から始まった、宮田さんとのSNSでのやりとり。そこには、年金申請までの質問や、申立書の下書きの画像があふれ、宮田さんからは、先輩として一つひとつ適切なアドバイスが送られていました。

今回は、そのSNSでのやりとりを基にした資料を配布し、お二人にそのやりとりを再現していた

できながら、申立書を書くポイントや、資料、申請までの理想的なスケジュールについてお話ししていただきました。



「誕生日が過ぎてから、来るのは遅いと言われました」

「20歳前から入念な準備を」  
「できることは、一切書いてはいけません！」

「本人が一人で、アパートで暮らすことを想定して書いてね」

「こんなことも一人ではできませんといったふうに」

「あとは診断書次第ですね」

「ここでも、「できないことを書く」という事がポイント。」

小学生の時にできなかったこ

と、中学生の時にできなかったこと、その年代の時のことを書く。具体的なエピソードがあれば、なお良しとのことでした。  
また、学校からもらえる子どもの資料（個別の教育支援計画や総合調査票）は、申立書を書く時に参考になるので、保管しておくことを勧められました。

**近くのアドバイザーに  
客観的に見てもらう**

干場さんは、宮田さんをはじめ、育成会の役員会に出席した際には、他の先輩保護者の皆さんからも、いろいろなアドバイスを受けたそうです。

お二人の話を受け、松井さんからも、年金申請時には誰もが大変苦労しますが、その時、先輩や保護者の仲間等、身近なアドバイザーに相談したり、申立書を客観的に見てもらったりすることが、いい結果に結びついていると補足されました。

（先の「申立書」の記入見本は、宮田さんの申立書を参考にして作ったものです）

**《参加者からの感想》**

- 具体的な話ばかりで、とてもわかりやすかったです
- 全ての保護者に聞いてほしい！
- 簡単に考えていましたが、計画的に進める準備をします
- 「できないことを書く」というポイントを持ち帰ります
- ネットではわからない情報がたくさんあって良かったです
- 早速、病院について情報を集めたいと思います
- 申立書の書き方のポイントがよくわかりました

わかりやすいお話と、具体的な体験談が、参加の皆さんからは大変好評でした。  
大切な障害基礎年金、いざ申請という時に慌てないよう、今から準備をしていくための、お手伝いのできたと思います。

富山県育成会では、会員の皆さんに、子どもの成育歴を記録する「あんしんサポートノート」を配布しております。学校の資料も一緒に綴じるなどして、有効にご活用ください。

— 人権は かけ声よりも 心がけ —

# 「ラブバンド」が平昌で演奏を披露！ 冬季パラリンピック関連イベントに出演

知的障害のある人たちの音楽サークル「ラブバンド」が、3月に開催された平昌（ピョンチャン）での、パラリンピック関連イベントに出演し、元気な演奏で会場を大きく盛り上げました。

ラブバンドの事務局長、富森眞琴さん（富山市育成会）より、イベントの報告をいただきました。



富山県の国際課から、「ラブバンド」が、ピョンチャンパラリンピック関連事業公演に推薦されているのですが、行きますか？と、突然の連絡がありました。

驚くやら、嬉しいやら、こんな名誉なことはないと、ラブバンド関係者みんなが大喜び。

メンバー、親、ボランティアの総勢33名で、韓国江原道（カンウォンド）へ演奏に行ってきました。

このイベントは、パラリンピックの開催地、江原道（カンウォンド）と交流が深い外国の都市から、音楽演奏する団体を招待して開催されました。

私たち「ラブバンド」以外は、アマチュア、プロ含めて、全て健全者の団体ばかり。

パラリンピックだから、演奏者も当然、障害を持った方々なのだ

— 人権は かけ声よりも 心がけ —  
と想像していたので少々がっかりしましたが、「ラブバンド」を派遣することに富山県の決断はすごいな、進んでいるな、と思いました。

2回、公演を行いました。一番に強いラブバンドのメンバーは、普段通りの演奏を行い、会場から大きな拍手喝采を受けました。



我が子にも、音楽、合奏の楽しさを味合わせてやりたいとの思いで、育成会の親たちに声をかけて

結成してから23年。ラブバンドを続けてきて良かった！と、つくづく思いました。

なにより嬉しいのは、本人たちがバンドの練習を楽しみにしていることです。

ラブバンドでは、新しいメンバーを募集しています。

キーボードは弾けなくても、音楽が好きなら、打楽器なら、誰でも演奏ができます。

一緒に演奏を楽しみませんか？  
親も子も、大歓迎です。

（ラブバンド事務局長

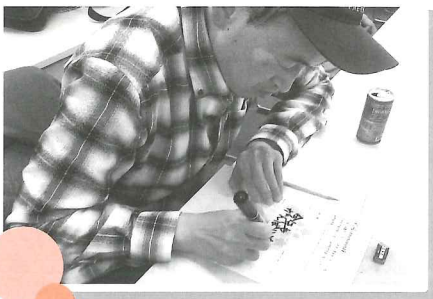
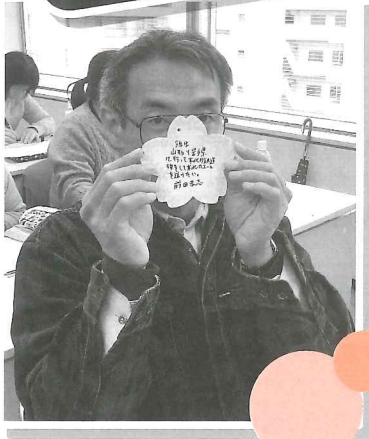
富森 眞琴）

公演は3月9日、10日に行われ、日本、ロシア、モンゴル、フィリピンから6団体が出演。ラブバンドは、「上を向いて歩こう」、「世界に一つだけの花」などのレパートリーのほかに、五箇山民謡の「こきりこ」や、「韓国国歌」、オリジナルの曲などを披露し、会場は大変な盛り上がりとなったそうです。  
これからも、周りの人を元気にする演奏活動、頑張ってください。

**本人活動部会**  
**「明るい立山の会」**

平成30年度最初の本人活動部会を4月15日に行いました。

役員選挙と、本人大会の内容について話し合いの後、満開の桜の下で、みんなで集合写真を撮る予定でしたが、今年は開花が早く、既に葉桜に。雨模様だったこともあり、外での撮影はあきらめ、桜の花びらの形の紙に、30年度の抱負を書いてもらいました。



みんなの花びらを、桜の木のイラストに貼り付けました。  
 30年度も、みんなの夢の花を満開にさせましょう！



— 子の生命 守る母の手 みんなの目 —

# 富山県知的障害児者生活サポート協会だより

## 平成29年度 3事業 一覧

### 1. 日常生活支援事業

No	支部名	事業名	内 容
1	黒部支部	野菜を作ろう	お借りした畑でジャガイモ、人参、大根などの野菜を栽培して、収穫時にカレーライスなどを作りみんなで楽しんだ。
2	恵光学園支部	コミュニケーションツールとしての手相講座	前半は将来の事についての講演会、後半は手相を通じたコミュニケーションについて学んだ。
3	富山支部 (しらとり)	スキー合宿	「体験・挑戦」をテーマにスキーにチャレンジ。
4	富山支部	トライアルキャンプ2017	北アルプス展望美術館の鑑賞とコテージに宿泊し、みんなで買い物や調理を体験した。
5	富山支部	ジョイジョイクラブ	発達に気がかりのある子どもや障害のある子どものきょうだいを対象に支援。
6	射水大島支部	ウィンターコミュニケーションボウリング	ボウリング大会を通じて、冬の運動不足解消、親睦、コミュニケーションを図る。
7	新生苑支部	地域ネットワーク構築事業(講演会)	佛子園の三草二木西園寺施設長を講師に、「地域とともにくらす」についての講演会。
8	かたかご苑支部	北陸新幹線で行く上越妙高親子のつどい	新幹線の乗車体験とバイキング料理のマナー研修、遊園地での乗り物乗車体験。
9	氷見支部	本人活動 日帰りバス旅行	岐阜県白鳥方面での食品サンプル作り、道の駅レストランでの混雑時の食事体験。
10	氷見支部	親子サロン	フラワーアレンジメント教室としてお正月の花飾り作成、ますのすし作り体験の2回の事業を開催した。
11	となみ総合支援 学校支部	クリスマス親子の集い	ボランティアによる演奏会とバルーンアート等を通して、子どもたちと保護者の親睦を図る。
12	手をつなぐ育成会 となみ地域連合会	夏まつり地域交流会	地域自治会、関係企業、保護者、ボランティア、職員など、約400名が参加して親睦を図った。
13	手をつなぐ育成会 となみ地域連合会	すまいる相談会	知的障害児(者)の生活、就学、就労、権利擁護などに関する様々な問題・心配・疑問などの相談について、社協 相談担当者、障害者相談員、サポートセンターの相談員、成年後見福祉会の理事等が対応する。
14	砺波支部	よってカフェ	支援学校を卒業した砺波地区のOB、OGや在学中の児童、生徒を対象に、年8回開催し、障がいをもった方から健常者までが集い、ともに楽しめる場を提供する。

### 2. 就労相談支援事業

1	富山エリア	学齢期の保護者のための施設見学会	学齢期の保護者を対象として、卒業後の進路選択の参考に、野積園、ひまわりの郷、つばさの郷を見学した。
2	高岡・氷見・射水 エリア	福祉サービス事業所 合同相談会	高岡支援学校の保護者会開催後の時間を利用して、卒業後の進路先となる福祉サービス事業所12事業所の説明会を開催した。
3	となみエリア	ふれあい交流会 (お元気です会)	就労することができていても、余暇を楽しむことができない方々が多い中、卒業したメンバーが集い、親睦を深め、働く意欲を高める事業として、ガラス加工体験や意見発表会を行った。本人たちが幹事を務め、企画力・チームワークも学んだ。

### 3. 権利擁護相談支援事業

1	高岡・氷見 エリア	成年後見制度利用促進事業(相談会)	氷見市と高岡市で社会福祉士の方を迎え、相談会を開催した。相談後に手続きをされた方もおられた。
2	となみエリア	福祉フォーラム 「津久井やまゆり園事件の検証と保護者・職員のあり方」	やまゆり園の痛ましい事件を風化させないように、みんなで今一度考え、検証する機会としてフォーラムを開催した。

## 黒部支部「野菜を作ろう」

最近は特に農福連携と言われ、障がい者が農業を知ることが将来的に価値のあることと思ひ、親子19名が参加して、お借りした畑で野菜作りを行いました。「芽が出た」、「実が大きくなった」と喜ぶ姿が見受けられ、大変楽しい事業になったと思ひます。また、種まきの大変さを知りました。



4月はジャガイモの種芋植えと玉ねぎの収穫を行い、5月・6月は手入れ、7月にジャガイモの収穫を行いました。大中小様々なのが…

8月には人参と大根の種まきを行いました。人参はうまく育たず、2回目の種まきを8月後半に行いました。肥料のせいかな？

10月には大根の収穫をみんなで行いました。大根は短かったですが、葉は立派でしたよ。

その後12月には収穫祭を行い、収穫した野菜でカレーライスやポテトサラダ・大根の炒め物を作り、おいしく頂きました。自分たちで作った野菜を自分たちで調理した味は格別でした。

## 富山支部「ジョイジョイクラブ (きょうだいの支援)」

富山大学人間発達科学部 志賀准教授と富山大学の学生ボランティアの方々、支援学校の先生などが中心となり、障がいのある子のきょうだい支援活動を行っています。

きょうだい達がゲームやレクレーション、おやつ作り等を通じて、同じ立場のきょうだいと仲良くなったり、ボランティアの方々とお話することで、日頃抱えている思いを発散できる場を作りました。また、親のグループは、子育ての悩み相談や勉強会も開催しました。



## サポート協会 3事業報告

### 射水・高岡・氷見エリア 「福祉サービス事業所相談会」

高岡支援学校卒業後の主な進路先となる福祉サービス事業所について、支援学校の保護者の要望に応えるため、高岡、氷見、射水の育成会が合同で、事業所相談会を高岡支援学校会議室で行いました。参加した事業所の数は12か所です。

保護者は事業内容や自分の子供の特性に合致するか等について、事業所担当者から直接聞けるチャンスだと思ひ、多くの質問をしておられ、大変有意義な時間となりました。

### となみエリア 「ふれあい交流会 (お元気です会)」

就労することができても、余暇を楽しむことができない方が多い中、就労した(卒業した)メンバーたちが集い、親睦を深めあう中で、働く意欲を高め、支え合う関係を築けるよう開催しております。今回は、朝日町のなないろKANでガラス加工を体験しました。昼食後には「勤務先・仕事内容・がんばっていること」などを発表してもらいました。

また、幹事を本人たちの中より選出し、企画、案内文の発送から当日の受付までの運営に、責任を持って関わる姿を見ていると、実施してよかったと強く感じました。



みんな  
で  
守ろう  
子ども  
と  
老人



**「平成30年7月豪雨災害義援金」の募集について**

このたび、西日本を中心とする豪雨により、各地で甚大な被害を受けられた皆さまに、謹んでお見舞い申し上げます。

当会では、この災害により甚大な被害を受けられた育成会会員に対する災害見舞金に充てるため、全国手をつなぐ育成会連合会と連携し、義援金活動の取り組みを行います。

既に各育成会支部長を通し、この取り組みについて呼びかけていただいておりますが、個人での義援金も受け付けておりますので、ご協力の程よろしくをお願いいたします。

(お振込いただいた方は、事務局までご一報ください。)

(集まった義援金は、全て、全国育成会連合会に送金いたします。)

受付期限 平成30年8月27日(月)まで

お振込先 <銀行> 北陸銀行 橋北(きょうほく)出張所

<口座> 普通 6017889

<名義> 一社 富山県手をつなぐ育成会

シャ) トヤマケンテラツナグイクセイカイ

ご寄付をいただきました  
ありがとうございます

富山パイロットクラブ様  
浅岡美和子様  
服部隆則様  
森下吉光様  
森完一様  
野島比呂志様

**育成会の動き**

期 日	内 容
<b>【報告】</b>	
2/19(月)	県障害者雇用推進会議 (県民会館)
2/17(土) ~18(日)	全国育成会事業所協議会 全国事業所研修大会 (千葉県)
2/21(水)	東海北陸手をつなぐ育成会協議会 理事会 (名古屋市)
2/27(火)	地域事業所部会・施設部会 (サンシップとやま)
3/1(木)	全国手をつなぐ育成会連合会 育成会フォーラム (東京)
3/2(金)	全国育成会連合会 会長・事務局長合同会議 (東京)
〃	全国育成会連合会 行政説明会 (東京)
3/3(土)	地域福祉フォーラム in TOYAMA (高岡文化ホール)
3/6(火)	全国サポート協会理事会 (東京)
3/11(日)	本人活動部会 (サンシップとやま)
3/14(水)	支部長・相談員合同研修会 (呉羽ハイツ)
3/28(水)	理事会 (サンシップとやま)
3/28(水)	サポート協会 理事会 (サンシップとやま)
4/2(月)	障害者差別解消法と富山県条例の 普及啓発街頭キャンペーン (富山駅)
4/10(火)	手をつなぐ高岡 グループホーム竣工式
4/12(木)	運営委員会 (サンシップとやま)
4/15(日)	セーナー苑育成会総会 (セーナー苑)
4/15(日)	本人活動部会 (サンシップとやま)
4/20(金)	県知的障害者福祉協会総会 (サンシップとやま)
4/29(日)	理事・監事・支部長会議 (呉羽ハイツ)
5/9(水)	県障害者スポーツ協会理事会 (県民会館)

期 日	内 容
5/15(火)	東海北陸手をつなぐ育成会協議会 理事会 (名古屋市)
〃	共同募金助成決定書交付式 (サンシップとやま)
5/17(木)	富山障害フォーラム 会長・事務局長会議 (富山市)
5/20(日)	県障害者スポーツ大会 陸上競技会 (県総合運動公園)
5/21(月)	県議会自民党政調会 平成30年度予算要望回答 (県議会議事堂)
5/22(火)	サポート協会理事会 (サンシップとやま)
5/29(火)	全国サポート協会社員総会 (東京)
5/30(水)	県調整委員会 (県庁)
〃	県特別支援教育研究会 全体研修会 (市町村会館)
6/3(日)	富山県手をつなぐ育成会大会 (上市町)
6/5(火)	県障害者社会参加推進協議会 (サンシップとやま)
6/6(水)	県工賃向上支援計画検討委員会 (県民会館)
6/14(木)	生命保険協会富山県協会例会 (電気ビル)
〃	県善意銀行総会 (電気ビル)
<b>【予定】</b>	
6/27(水)	全国育成会連合会定時総会 (東京)
7/5(木) ~6(金)	障害者相談員 (3障害) 活動強化研修会 (金太郎温泉)
7/12(木)	サポート協会 理事会 (サンシップとやま)
8/4(土)	富山障害フォーラム (サンシップとやま)
10/27(土) ~28(日)	第51回 手をつなぐ育成会東海北陸大会 三重大会 (三重県伊勢市)

あつあぶない 子供は動く 赤信号